

決算説明資料

2022年度第2四半期決算概況

2022年11月1日



(注意事項)

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

I.2022年度第2四半期決算

2022年度上期 事業環境	4
連結業績概要（対前年同期実績）	5
セグメント別売上収益	6
セグメント別コア営業利益	7
コア営業利益増減分析（セグメント別）	8
非経常項目内訳	13
連結財政状態計算書	14
連結キャッシュ・フロー	15

II.2022年度予想

2022年度下期 事業環境見通し	17
業績予想修正（通期）	18
セグメント別売上収益・ コア営業利益予想（通期）	19

(参考資料)








設備投資／減価償却費／研究費／期末人員	21
セグメント別設備投資	22
セグメント別減価償却費	23
セグメント別研究費	24
セグメント別売上収益（四半期推移）	25
セグメント別コア営業利益（四半期推移）	26
セグメント別売上収益増減分析	27
主要グループ会社業績動向	30
地域別農薬売上収益	31

I . 2022年度第2四半期決算

経済情勢

- **為替の円安進行**により、輸出や海外事業における採算は改善
- 一方、ウクライナ危機やインフレの進行により**原燃料価格の高騰**が業績を圧迫

事業環境

石化・原料市況	川下需要は弱く、石油化学製品市況は低迷 一方、石油精製製品の需給ひっ迫によりラビグの上期業績は好調	
自動車	半導体不足や中国ロックダウン影響により、自動車の減産が続く	
ディスプレイ	巣ごもり需要の剥落やインフレによる消費マインドの減退により、 パネル需要は大きく減少	
半導体	市場拡大に伴い堅調な需要が継続	
農薬	堅調な農薬需要に加え、南米における売価上昇が大きく貢献	
メチオニン	市況は上昇したが、それ以上に原燃料価格も上昇	
医薬品	ラソーダの販売は堅調に推移	

連結業績概要 (対前年同期実績)

5

単位:億円

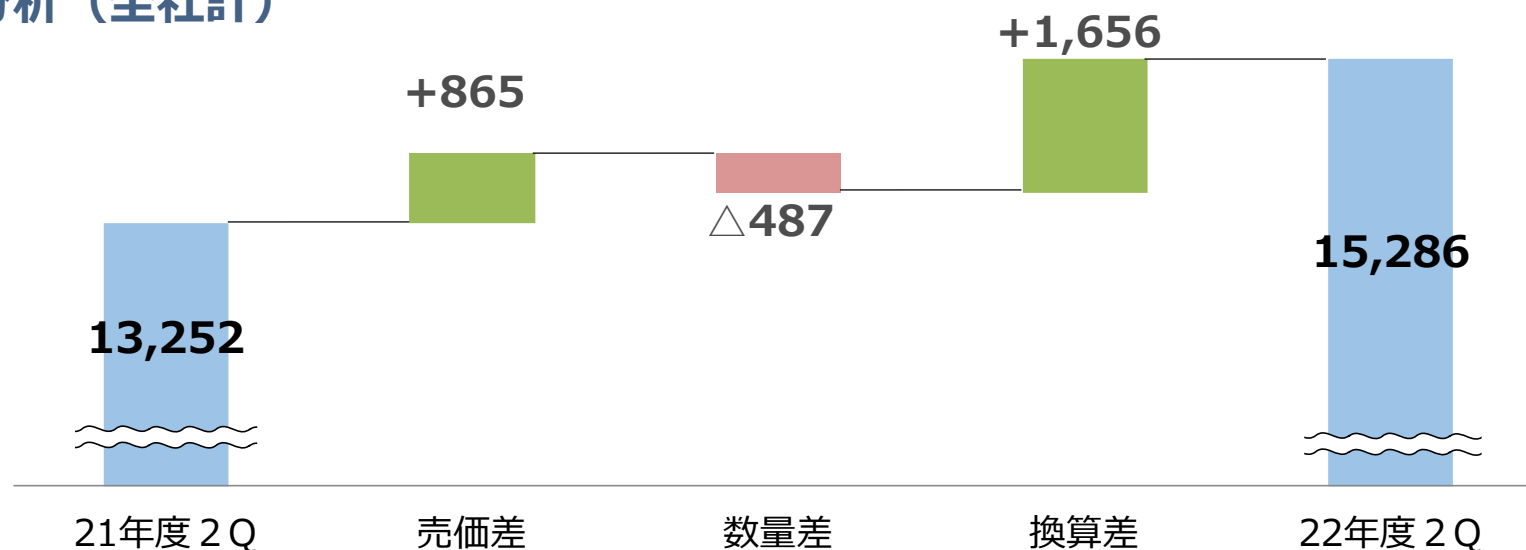
	21年度 2Q	22年度 2Q	増減	増減率
売上収益	13,252	15,286	2,034	15.3%
コア営業利益	1,489	1,156	△333	△22.3%
(うち持分法による投資損益)	(272)	(299)	(26)	-
非経常項目	△46	△ 551	△504	-
営業利益	1,443	606	△837	△58.0%
金融損益	25	662	637	-
(うち為替差損益)	(60)	(821)	(762)	-
法人所得税費用	△390	△ 537	△147	-
非支配持分損益	△189	80	269	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	889	811	△78	△8.8%
ROE	8.5%	6.2%		
平均為替レート (円/USD)	109.81	134.03		
ナフサ価格 (円/KL)	50,600	83,600		
海外売上比率	67.1%	70.4%		

セグメント別売上収益

単位:億円

	21年度 2Q	22年度 2Q	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
エッセンシャルケミカルズ	3,995	4,673	678	17.0%	455	△221	444
エネルギー・機能材料	1,485	1,735	250	16.9%	255	△58	53
情報電子化学	2,277	2,222	△55	△2.4%	△50	△374	370
健康・農業関連事業	2,094	2,939	845	40.3%	265	179	400
医薬品	3,096	3,344	249	8.0%	△60	△79	388
その他	306	372	66	21.7%	0	66	0
合計	13,252	15,286	2,034	15.3%	865	△487	1,656

増減分析 (全社計)

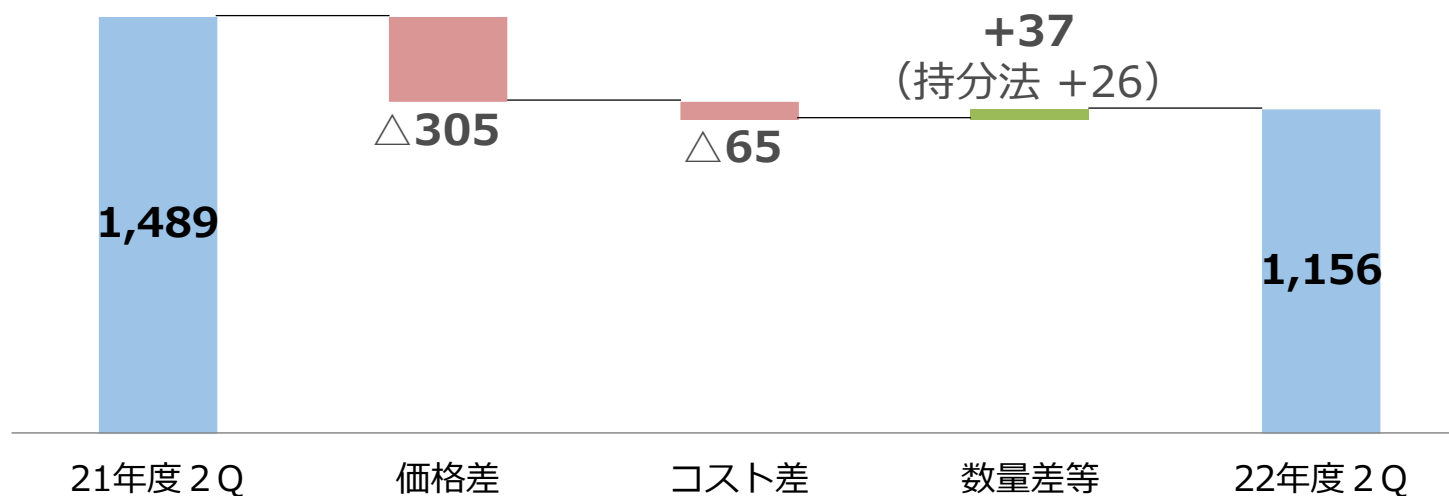


セグメント別コア営業利益

単位:億円

	21年度2Q	22年度2Q	増減	価格差	コスト差	数量差等
エッセンシャルケミカルズ	420	233	△188	△165	10	△33
エネルギー・機能材料	126	134	9	△10	△15	34
情報電子化学	295	264	△31	△70	25	14
健康・農業関連事業	185	363	179	0	△40	219
医薬品	500	252	△248	△60	△45	△143
その他 全社費用等	△37	△90	△54	0	0	△54
合計	1,489	1,156	△333	△305	△65	37

増減分析 (全社計)



22年度第2四半期コア営業利益 233億円 (前年同期比△188億円)



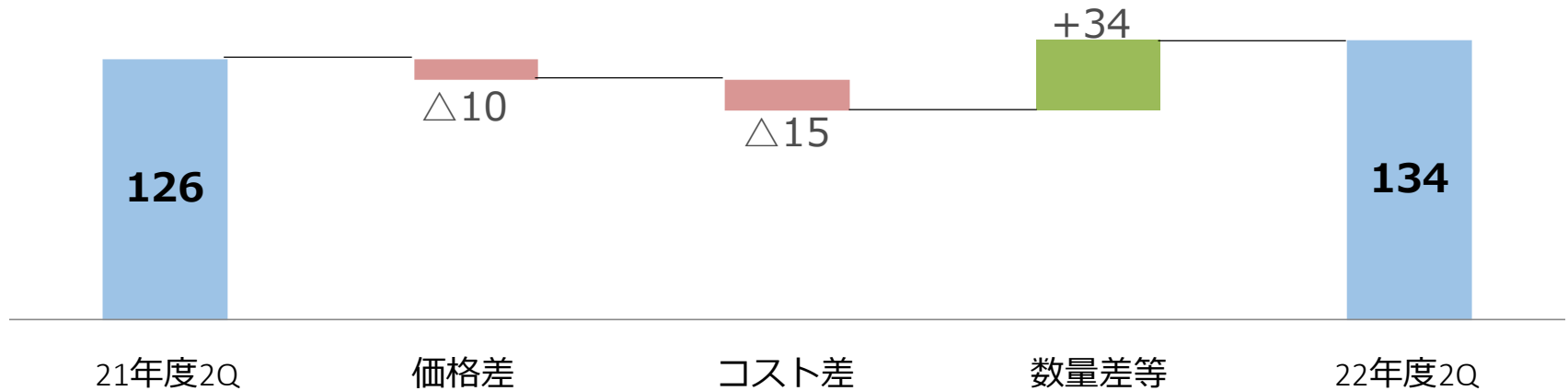
価格差

合成樹脂やメタアクリル、各種工業薬品等は原料・燃料価格の上昇に対し販売価格への転嫁が追いつかず交易条件が悪化

数量差等

ペトロ・ラービグ社の業績改善の一方で、自動車用途を中心に需要が落ち込んだことにより出荷が減少

22年度第2四半期コア営業利益 134億円 (前年同期比+9億円)



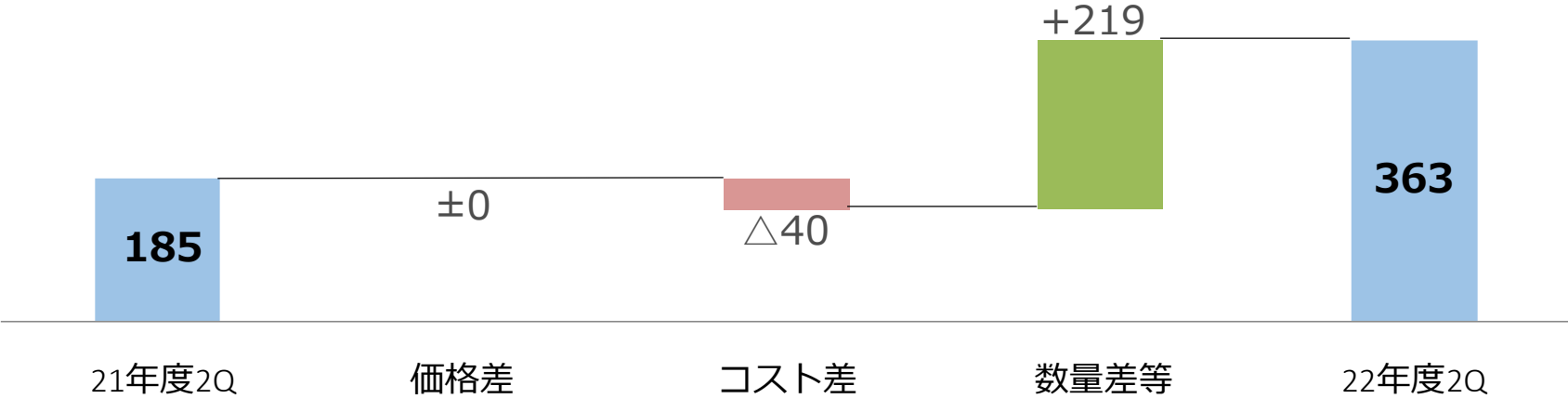
価格差	<p>アルミニウムや正極材料は市況上昇に伴い交易条件が改善 一方でレゾルシンや合成ゴム等は原料・燃料価格の上昇に伴い交易条件が悪化</p>
数量差等	<p>リチウムイオン二次電池用セパレータの出荷が堅調に推移するとともに、 円安により輸出手取りが増加</p>

22年度第2四半期コア営業利益 264億円 (前年同期比△31億円)



価格差	ディスプレイ	偏光フィルム、タッチセンサーパネルの売価下落
	半導体	
数量差等	ディスプレイ	巣ごもり需要一巡・インフレによる消費マインドの悪化等により出荷が減少
	半導体	需要の伸長に伴い高純度ケミカルやフォトレジストの出荷増加
	全体	円安による輸出手取り増加・邦貨換算差益

22年度第2四半期コア営業利益 363億円 (前年同期比+179億円)



価格差	農薬	南米におけるジェネリック品の売価上昇に伴い交易条件が改善
	メチオニン	市況上昇の一方で、原料・燃料価格の上昇により交易条件が悪化
コスト差	農薬	INDIFLIN®垂直立ち上げや新規パイプライン開発費など、事業拡大に伴う経費増加
数量差等	農薬	南米およびインドで出荷が増加
	全体	円安による輸出手取り増加・邦貨換算差益

22年度第2四半期コア営業利益 252億円 (前年同期比△248億円)



価格差	日本国内における薬価改定の影響により売価が下落
コスト差	スミトバント社グループにおいて、オルゴビクスやジェムテサ等の拡販に伴い、販売費及び一般管理費が増加
数量差等	北米でのラツータやオルゴビクス、ジェムテサ等の売上伸長に加え、オルゴビクスの欧州における販売ライセンス契約等による一時金を収益計上 一方で前年同期には共同開発・販売提携契約による一時金を計上

単位:億円

	21年度2Q	22年度2Q	増減
減損損失	△16	△545	△529
事業構造改善費用	△30	△84	△54
固定資産売却益	2	35	34
条件付対価に係る公正価値変動	△1	13	14
その他	△0	31	31
非経常項目計	△46	△551	△504

単位:億円

	22.3月末	22.9月末	増減
流動資産	18,126	21,405	3,278
現金及び現金同等物	3,654	4,860	1,206
営業債権及びその他の債権	7,204	7,385	180
棚卸資産	6,514	8,052	1,539
その他	754	1,108	354
非流動資産	24,955	25,416	460
有形固定資産	8,230	8,558	328
のれん及び無形資産	7,156	7,514	358
その他	9,569	9,344	△225
資産合計	43,082	46,820	3,739

	22.3月末	22.9月末	増減
負債	26,062	27,934	1,872
営業債務及びその他の債務	5,516	6,353	838
有利子負債	13,505	13,929	424
その他	7,041	7,652	611
資本	17,020	18,887	1,867
株主資本	10,828	11,474	646
その他の資本の構成要素	1,353	2,321	968
非支配持分	4,839	5,092	253
負債及び資本合計	43,082	46,820	3,739
親会社所有者帰属持分比率	28.3%	29.5%	1.2%
D/Eレシオ(倍)	0.8	0.7	△0.1

単位:億円















	21年度 2Q	22年度 2Q	増減
営業キャッシュ・フロー	772	835	63
投資キャッシュ・フロー	△652	156	807
フリー・キャッシュ・フロー	120	991	870
財務キャッシュ・フロー	△271	△ 247	25
その他	10	462	452
現金及び現金同等物の増減	△141	1,206	1,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,468	4,860	1,392

II. 2022年度予想

経済情勢

- 原燃料価格の高止まりや、各国政策金利引き上げによる景気後退の懸念あり

上期⇒下期の事業環境の変化

石化・原料市況	ラービグは石油精製製品の需給緩和を見込む	 → 
自動車	半導体不足に伴って低調であった生産の回復を期待	 → 
ディスプレイ	パネルの在庫調整期間の長期化により、ディスプレイ関連需要は大幅減少	 → 
半導体	市場の拡大を想定も、一部のメモリー分野で陰り有り	 → 
農薬	南米における新製品の本格販売開始 北米、日本の需要期に期待	 → 
メチオニン	原料価格高止まりにより、厳しい事業環境	 → 
医薬品	ラツーダのLOEを迎えるが、新製品の拡販に注力	 → 

業績予想修正（通期）

単位:億円

	前回予想	今回予想	増減	増減率
売上収益	31,200	31,800	600	1.9%
コア営業利益	2,000	1,900	△100	△5.0%
（非経常項目）	(△200)	(△750)	(△550)	-
営業利益	1,800	1,150	△650	△36.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,250	1,050	△200	△16.0%
ROE	10.0%	8.1%		
平均為替レート（円/USD）	125.00	137.02 (下期 140.00)		
ナフサ価格（円/KL）	80,000	79,300 (下期 75,000)		
配当金	中間	12円	12円	
	期末	12円	12円	
	年間	24円	24円	

セグメント別売上収益・コア営業利益予想（通期）

19

単位:億円

	売上収益			コア営業利益		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
エッセンシャルケミカルズ	11,200	9,600	△1,600	410	0	△410
エネルギー・機能材料	3,400	3,900	500	180	200	20
情報電子化学	4,800	4,650	△150	610	510	△100
健康・農業関連事業	5,400	6,450	1,050	475	770	295
医薬品	5,800	6,300	500	330	360	30
その他・全社費用等	600	900	300	△5	60	65
合計	31,200	31,800	600	2,000	1,900	△100

(参考資料)

単位:億円

	21年度2Q	22年度2Q	増減
設備投資	510	691	180
減価償却費	777	858	81
研究費	838	934	97
期末人員 (人)	34,973	34,654	△319

単位:億円

	21年度2Q	22年度2Q	増減
エッセンシャルケミカルズ	102	155	53
エネルギー・機能材料	118	117	△1
情報電子化学	61	134	73
健康・農業関連事業	85	131	46
医薬品	85	65	△21
その他 全社費用等	59	90	31
合計	510	691	180

単位:億円

	21年度2Q	22年度2Q	増減
エッセンシャルケミカルズ	134	145	10
エネルギー・機能材料	94	94	△0
情報電子化学	138	137	△1
健康・農業関連事業	134	143	9
医薬品	196	237	42
その他 全社費用等	81	103	21
合計	777	858	81

単位:億円

	21年度2Q	22年度2Q	増減
エッセンシャルケミカルズ	34	35	1
エネルギー・機能材料	38	44	5
情報電子化学	96	98	2
健康・農業関連事業	122	145	24
医薬品	469	518	49
その他 全社費用等	79	94	16
合計	838	934	97

セグメント別売上収益 (四半期推移)

単位:億円

	21年度				22年度		22年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期実績	下期予想
エッセンシャルケミカルズ	1,995	2,000	2,255	2,176	2,386	2,287	4,673	4,927
エネルギー・機能材料	744	741	782	897	864	871	1,735	2,165
情報電子化学	1,093	1,184	1,244	1,217	1,147	1,075	2,222	2,428
健康・農業関連事業	1,031	1,064	1,215	1,428	1,526	1,413	2,939	3,511
医薬品	1,392	1,704	1,467	1,354	1,677	1,667	3,344	2,956
その他	136	170	164	203	142	230	372	528
合計	6,390	6,862	7,127	7,274	7,741	7,544	15,286	16,514

セグメント別コア営業利益（四半期推移）

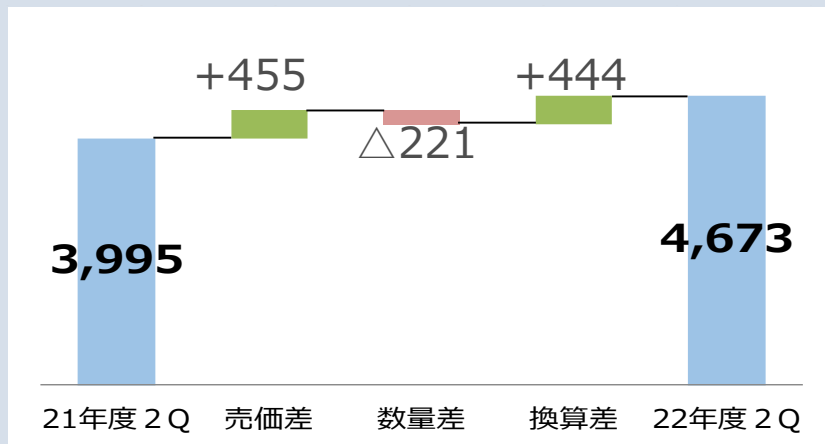
単位:億円

	21年度				22年度		22年度	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	上期実績	下期予想
エッセンシャルケミカルズ	238	182	100	15	100	133	233	△233
エネルギー・機能材料	67	59	61	14	66	68	134	66
情報電子化学	135	160	164	119	158	107	264	246
健康・農業関連事業	103	82	94	144	219	144	363	407
医薬品	96	403	125	△7	141	111	252	108
その他 全社費用等	△23	△14	25	6	△43	△48	△90	150
合計	617	872	568	291	641	515	1,156	744

セグメント別売上収益増減分析

エッセンシャルケミカルズセグメント

売上収益増減



4,673億円 (前年同期比+678億円)

売価差
+455億円

- 市況上昇

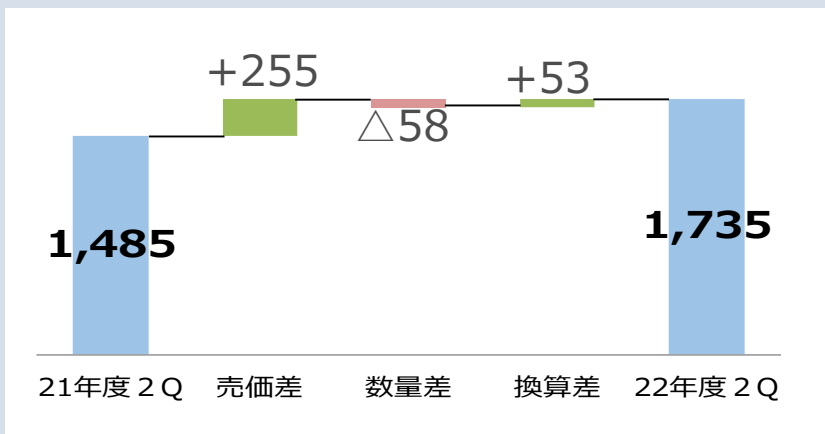
数量差
△221億円

- 自動車用途等出荷減 (合成樹脂等)

換算差
+444億円

エネルギー・機能材料セグメント

売上収益増減



1,735億円 (前年同期比+250億円)

売価差
+255億円

- アルミウム売価上昇
- 正極材料売価上昇

数量差
△58億円

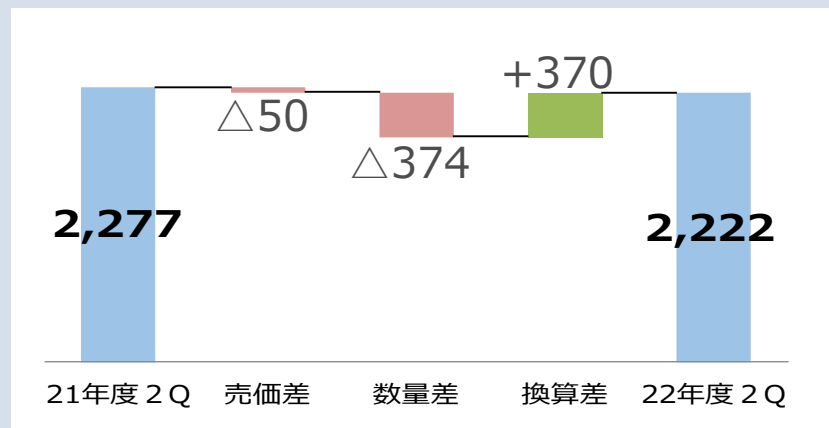
- 自動車用途等出荷減 (アルミウム・レジジン等)
- リチウムイオン二次電池用セパレータ出荷増加

換算差
+53億円

セグメント別売上収益増減分析

情報電子化学セグメント

売上収益増減



2,222億円 (前年同期比△55億円)

売価差
△50億円

- 偏光フィルム売価下落

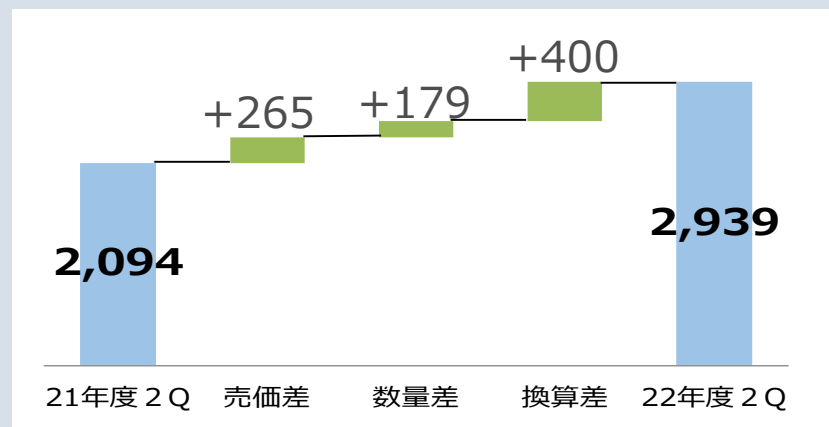
数量差
△374億円

- ディスプレイ関連材料出荷減少
- 半導体プロセス材料出荷増加

換算差
+370億円

健康・農業関連事業セグメント

売上収益増減



2,939億円 (前年同期比+845億円)

売価差
+265億円

- 南米ジェネリック品売価上昇
- メチオニン市況上昇

数量差
+179億円

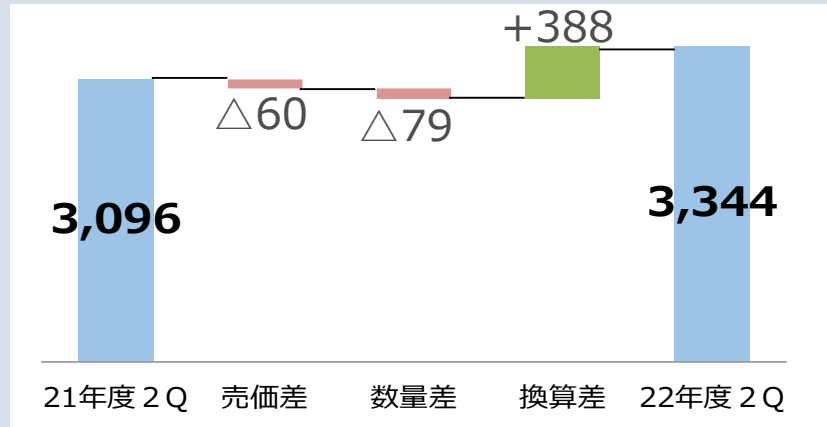
- 南米・インドにおける農業出荷増加

換算差
+400億円

セグメント別売上収益増減分析

医薬品セグメント

売上収益増減



3,344億円 (前年同期比+249億円)

売価差
△60億円

- 国内薬価改定

数量差
△79億円

- 前年同期には共同開発・販売提携契約による一時金を計上
- 北米ラツータ・オルゴビクス・ジェムテサ等出荷増加
- オルゴビクス欧州販売ライセンス契約等による一時金の収益計上

換算差
+388億円

外貨ベース

会社名	売上収益		利益動向
	21年度 2 Q	22年度 2 Q	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	600	601	↘ 交易条件悪化
ペトロケミカル・コーポレーション・オブ・シンガポール (百万USD)	1,307	1,432	↘ 交易条件悪化
ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	21,245	32,502	↗ 石油精製マージンの改善
東友ファインケム (億KRW)	12,426	11,061	↘ ディ스플레이関連材料販売数量減少による減益
ベラント U.S.A. (連結ベース) (百万USD)	352	346	↘ 経費の計画的な執行による減益

単位:億円

	21年度2Q	22年度2Q	増減	主な差異要因
日本	295	310	15	
北米	228	261	33	・ 邦貨換算差
中南米	551	1,152	601	・ 邦貨換算差 ・ 出荷数量増加
アジア (インド含む)	270	372	102	・ 邦貨換算差 ・ インドにおける出荷数量増加
欧州その他	92	106	14	・ 邦貨換算差 ・ 欧州における出荷増加
合計	1,436	2,201	765	